

第2期八戸市中心市街地活性化基本計画(素案)に対するパブリックコメント実施結果

[実施期間：平成24年11月27日～平成24年12月17日、意見の提出者数・提出件数：7名 13件]

意見の処理区分

- A：意見の趣旨等を基本計画案に盛り込むもの
- B：意見の趣旨等は既に基本計画案に盛り込み済みと考えるもの
- C：基本計画案には盛り込まないもの

NO.	意見概要	市の考え方	処理区分
1	再開発ビルの建設や空き店舗の利活用など、新たな魅力を作り出すことも中心街に変化を与える意味では重要であるが、既存店の魅力アップ・質の向上を図ることが最も重要なことではないか。そのため、ディスプレイの方法や接客態度など基本的なことを既存店がもう一度見直して改善することが大切と考える。	当計画では「中心商店街コンセプト形成事業」において、中心商店街が自らの課題を解決する方策や商店街の目指すべき方向性について専門家による研修会を通して検討していくこととしております。これに加え、中心商店街では専門家に各店舗の魅力アップ・質の向上を図るためのアドバイスを受けるとしてしております。市といたしましても、魅力的な商店街の形成に向けたこれらの取り組みを支援して参ります。	A
2	八戸の中心街の顔である本八戸駅通りが整備されることによって、八戸の印象は大きく変わると思われる。そこで、「本八戸駅通り地区街なみ環境整備事業」が適切に実施されることを望む。そして、当事業の進捗状況を広く公表してほしい。	内丸地区では都市計画道路3・5・1号沼館三日町線の街路事業が平成23年2月に事業認可となり、県により事業が進められています。また、市では平成24年度から国土交通省の街なみ環境整備事業により、周辺の街づくりを進めています。両事業とも、現在は用地取得等に係る事務や測量・設計などの調査を中心に進めております。なお、現状と実績については、市のホームページなどで公表しており、今後も引き続き公表して参ります。	B

3	<p>中心市街地の人口・世帯の現状について、「減少傾向に歯止めがかかりつつある」と記されているが、これはあくまでもマンションや借上市営住宅が建設されたからであり、現在の高齢化率や自然動態を考慮すると、マンションの建設がなければ人口は減少を続けると推測されるため、「一時的に減少傾向に歯止めがかかる」と表現するのが適切である。</p>	<p>ご指摘の通り修正します。</p>	A
4	<p>駐車場に関する考察について、新築された分譲マンションや賃貸アパート周辺では駐車場不足が起こっていると考えられるため、「既に供給台数が需要量を上回っていると考えられる」との記載は適切ではないと思われる。駐車場に関して問題となっているのは、収容台数が少ない小規模駐車場が点在していることである。</p>	<p>ご指摘の通り修正します。</p>	A
5	<p>基本方針3の重点施策5に記載がある「中心市街地に新たに住居等を整備した際に、建設費の一部を支援することで、まちなかの居住の促進を図る」について、戸建住宅への支援は居住人口の増加への効果が低いため、共同住宅を整備した者へ支援するべきと思われる。</p>	<p>重点施策5の1つ目に「マンション等の共同住宅の整備促進を図る」と記載のある通り、共同住宅への支援も当計画では想定しております。なお、戸建住宅への支援については、1件あたりの居住人口増加への効果は小さいものの、これまでの実績から、ある程度の件数が見込まれるため、一定の効果は期待できるものと考えています。</p>	B
6	<p>「基本方針2 商業やオフィス、福祉・医療、教育、行政など多様な都市機能が集積する活力あるまちづくり」に明記している医療・福祉に関する具体的な事業を考えるべきである。</p>	<p>現時点で医療・福祉に関する具体的な事業はありませんが、今後の高齢社会を見据えた中で充実が求められる機能の一つであると考えておりますことから、具体的な事業化に向けて、引き続き検討して参ります。</p>	C
7	<p>子育て世帯（4～5人家族）を定住させるために、八戸市や(株)まちづくり八戸が民地等を定期借地で借上げ、3DKの賃貸マンションや賃貸アパートを整備する事業を実施して欲しい。また、民間不動産と協働での住み替え支援について検討して欲しい。</p>	<p>現在、市では中心市街地における子育て世帯が居住できる賃貸マンションや分譲マンションの整備などに支援しております。今後も中心市街地において、同様の民間開発が行われる際には、積極的に支援することで、まちなか居住の促進に努めてまいります。 また、住み替え支援については、現在、青森県住みかえ支援協議会が、市役所内に窓口を設置しております。</p>	D
8	<p>中心市街地における駐車場の適正な配置のために、中心市街地全体の駐車場整備計画を策定し、それに沿って条例を制定する必要があると考える。 また、中心市街地内外にパークアンドライド駐車場を整備し、そこから徒歩や公共交通でアクセスできる交通体系を構築する必要があると考える。</p>	<p>当計画では、中心市街地において小規模な駐車場が点在する状況を踏まえ、今後、効果的な土地活用策について具体的な検討を進めることを明記しております。 ご提案頂いた、駐車場の適正配置や集約に向けた条例制定や、パークアンドライド駐車場の整備については、貴重なご意見として、今後の駐車場のあり方を検討する際の参考といたします。</p>	D

9	大型の書店を中心街につくって欲しい。	市民の方々が中心市街地に求めるものについては、意見交換会やアンケート調査など様々な場面でご意見・ご要望を頂いております。今回お寄せ頂いたご要望につきましても、市民ニーズの貴重なご意見として今後検討して参ります。	D
10	中心市街地に必要な事（物） <ul style="list-style-type: none"> ・無料の駐車場 ・（県外の方に建物がわかるように）はっちの看板 ・はっち利用者の駐車場 ・お弁当屋 ・日中にせんべい汁を食べられる所（県外の方にも分かるように、のぼり旗を設置するなど工夫が必要） ・0才～小学生未満の子供が遊べる場所 ・習い事や教室を開催できる場所 ・手作り作家が1日単位で販売できるスペース 	ご提案頂いた項目のうち、既に中心市街地に有るものや、実施しているものについては、より効果的な情報発信に努めて参ります。また、市民の方々が中心市街地に求めるものについては、意見交換会やアンケート調査など様々な場面でご意見・ご要望を頂いております。今回お寄せ頂いたご要望につきましても、市民ニーズの貴重なご意見として今後検討して参ります。	D
11	「更上閣賑わい広場整備事業」については、単なる多目的広場の整備だけではなく、長根公園の景観を活かした市民が憩える場となるよう検討いただきたい。	現在策定中の「長根公園再編プラン」との整合性を図りつつ、市民が寛げる拠点の整備等、有効な土地利用について検討を進めて参ります。	A
12	八戸ポータルミュージアム（はっち）について はっちという新たなステージができたことにより、文化芸術など市民の潜在能力が開花したと思う。また、中心街の空きビルの建替え計画が発表されるなど、周辺への波及効果が生まれたと実感している。	現在、八戸ポータルミュージアムへ多くの方々に御来館いただいております。今後も新たな交流と創造の拠点として、賑わいの創出や観光・文化の振興を推進して参ります。	D
13	八戸ポータルミュージアム（はっち）について 開館して約2年経つが、館内はきれいに保たれており、とても素敵な場所だと思う。当施設が八戸市の名所になるよう頑張してほしい。		D